

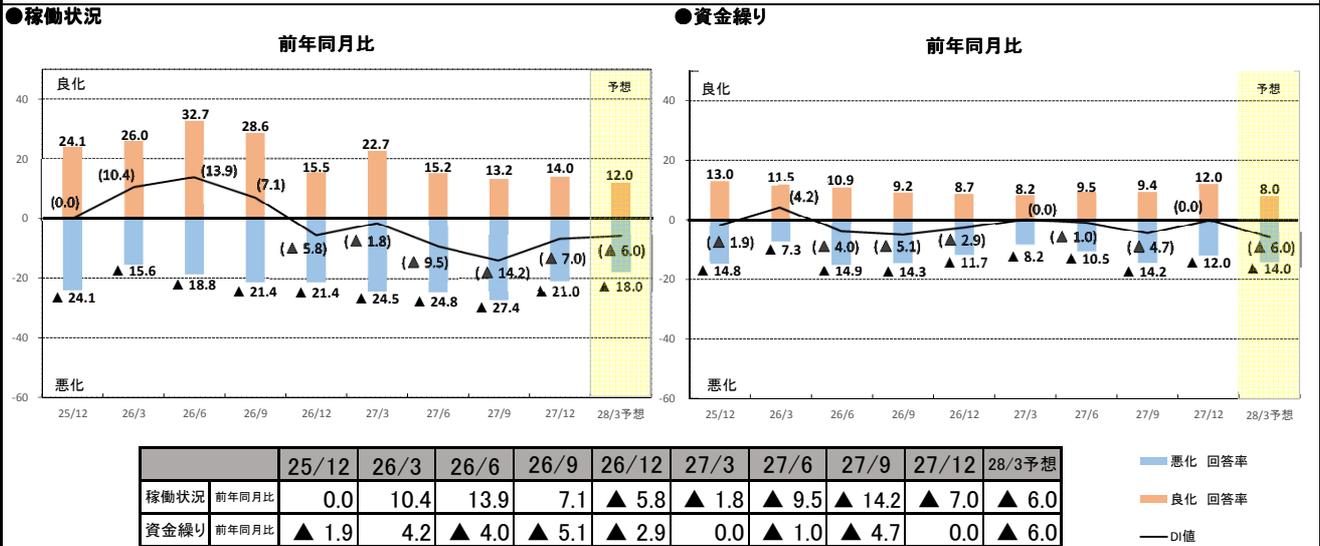
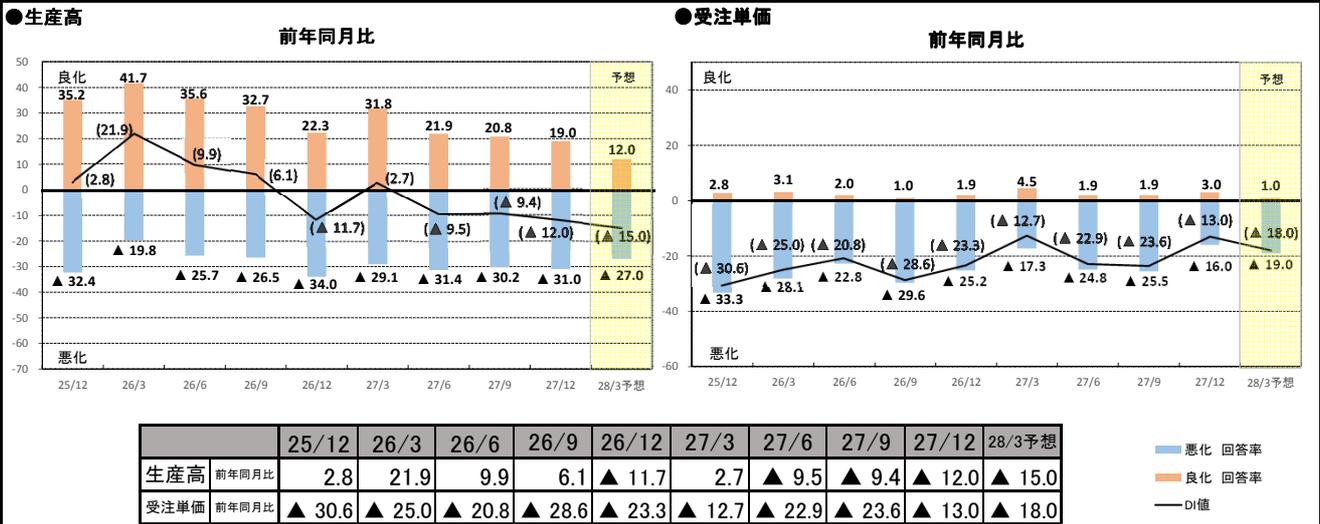
# 受注企業動向調査結果

-2016.2-

- 調査時点 平成27年12月調査(平成27年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 100社(回答率:66.67%)

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	25社
一般機械器具	19社
電気機器	19社
輸送用機器	7社
精密機器	10社
縫製	5社
計	100社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは(▲12.0)で前回の(▲9.4)から2.6ポイント減で横ばいとなった。
- ・受注単価DIは(▲13.0)で前回の(▲23.6)から10.6ポイント増の良化となった。
- ・稼働状況DIは(▲7.0)で前回の(▲14.2)から7.2ポイント増の良化となった。
- ・資金繰りDIは(0.0)で前回の(▲4.7)から4.7ポイント増で良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲15.0)で3.0ポイント減の悪化、受注単価は(▲18.0)で5.0ポイント減の悪化、稼働状況が(▲6.0)で1.0ポイントの増で横ばい、資金繰りは(▲6.0)で6.0ポイント減で悪化という予想になった。
- ・先行き不透明と感じている企業が多く、今後の業況は悪化傾向にある。  
また、以前から人材不足や人件費の高騰という声も上がっており、中小企業に対する影響は大きくなっていると考えられる。